

## 地震災害予測研究会（第5回）議事要旨

日 時：平成24年9月3日(月) 14:00～16:15

場 所：貸し会議室プラザ 八重洲北口 5階3号室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 額瀨一起 境有紀 林康裕 緑川光正

（機構）大滝(リスク業務室長) 江口(火災・地震保険部長)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

### 1. 住宅の損壊被害予測手法に関する研究について

A. 研究事業の委託先より、鉄骨造について2007年以降の大きな地震における保険実績データと地震応答解析を組み合わせ作成した被害率関数について説明した。

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 周期特性を考慮した地震動強さ指標と被害率との相関性を検討する際には、多様な地震動が必要である。観測地震動の多様性が十分ではないのであれば、多様な地震動が入力可能な地震応答解析で補う方法を検討すべきである。
- 2) 東北地方太平洋沖地震とその他の地震で傾向が異なるが、これらを1つの指標で表現することを目指さずに、地震の特徴によって被害関数を分ける方法もある。

以 上